



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月10日

上場会社名 カネ美食品株式会社 上場取引所 東
コード番号 2669 URL <https://www.kanemi-foods.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺山 雅也
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 大谷 浩一郎 TEL 052-879-6111
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	20,890	5.4	846	31.1	863	32.6	575	33.9
2023年2月期第1四半期	19,804	4.7	645	167.4	651	153.3	429	219.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	59.53	—
2023年2月期第1四半期	44.44	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期第1四半期	34,716	26,255	75.6	2,714.30
2023年2月期	33,406	25,912	77.6	2,678.74

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 26,255百万円 2023年2月期 25,912百万円

(注) 1. 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2024年2月期第1四半期4,803株、2023年2月期第1四半期6,274株）に、1株当たり純資産金額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式（2024年2月期第1四半期4,803株、2023年2月期4,803株）にそれぞれ含めておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	14.00	—	22.00	36.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,600	4.3	2,750	2.3	2,800	2.0	1,800	4.6	186.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	10,000,000株	2023年2月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	326,833株	2023年2月期	326,765株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	9,673,229株	2023年2月期1Q	9,671,774株

(注) 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託（BBT）」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式（2024年2月期1Q 4,803株、2023年2月期1Q 6,274株）に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、経営環境の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. 主要な経営指標等の推移	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に緩和されたことにより、社会経済活動の正常化が進み、景気の持ち直しが見られました。一方、円安やロシアによるウクライナ侵攻の長期化、原材料価格の高騰等により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当業界におきましては、コロナ禍を経てなお続く業態の垣根を越えた競争や、原材料やエネルギー価格の高騰等による相次いだ価格改定の中、消費者の節約志向が高まっており、依然として厳しい環境が続きました。

このような中、当社は新たな経営体制のもと、顧客需要を捉えた商品提供の推進、時代に合わせた迅速かつ柔軟な変化対応に努め、価値を創造する企業力の向上を図ってまいりました。

報告セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

① テナント事業

テナント事業においては、人流回復を背景に春休みやゴールデンウィークなど行楽需要が増加し、特に駅立地店舗は好調に推移いたしました。

新規出店として、総合惣菜店舗「Re' z deli (リーズデリ)」を1店舗、洋風惣菜店舗「eashion (イーショ)」を3店舗出店し、店舗規模の拡大及び新たな取組みの実践に努めたほか、既存店ではコア商品のブラッシュアップ及び販売強化に注力し事業全体の底上げを図ってまいりました。

これらの結果、テナント事業全体の売上高は前年同期間に比べ1.9%増収の105億74百万円となりました。一方利益面は、製造及び人員の計画精度を高めることにより収益性向上に一定の効果は得られたものの、新規出店にかかる一時費用の負担が影響し、セグメント利益は前年同期間に比べ3.6%減益の4億60百万円となりました。

② 外販事業

外販事業においては、テナント事業同様、人流回復が全体を押し上げる要因となったことに加え、ファミリーマート店舗においては各種販促企画の実施や好調なチルド惣菜シリーズ「ちょいデリ」が下支えとなり、納品量が増加いたしました。

また、ユニー店舗やドン・キホーテ店舗などスーパーマーケット等の納品店舗数の拡大及び納品アイテム数の拡充を図り、コンビニエンスストア以外の販路拡大に努めてまいりました。

これらの結果、外販事業の売上高は前年同期間に比べ9.3%増収の103億16百万円となり、利益面では売上高の増加に加え、コスト構造の適正化への継続的な取組みが寄与し、セグメント利益は前年同期間に比べ130.3%増益の3億85百万円となりました。

以上の要因により、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は前年同期間に比べ5.4%増収の208億90百万円となりました。利益面については、経常利益は前年同期間に比べ32.6%増益の8億63百万円、四半期純利益は前年同期間に比べ33.9%増益の5億75百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ13億10百万円増加して347億16百万円となりました。

この主な要因は、現金及び預金が2億59百万円、売掛金が8億33百万円それぞれ増加したことなどによりです。

負債は、前事業年度末に比べ9億66百万円増加して84億60百万円となりました。

この主な要因は、買掛金が4億39百万円、賞与引当金が3億8百万円それぞれ増加したことなどによりです。

純資産は、前事業年度末に比べ3億43百万円増加して262億55百万円となりました。

この主な要因は、利益剰余金が3億62百万円増加したことなどによりです。

これらにより、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は、前事業年度末の77.6%から75.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,956,868	17,216,731
売掛金	5,221,998	6,055,060
製品	8,943	8,927
仕掛品	19,975	18,526
原材料及び貯蔵品	429,826	432,542
前払費用	70,815	155,169
未収入金	58,032	29,612
テナント預け金	108,269	141,435
その他	13,246	17,678
流動資産合計	22,887,977	24,075,685
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,824,071	3,810,607
構築物（純額）	229,589	223,229
機械及び装置（純額）	1,528,836	1,470,202
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	304,396	346,740
土地	2,887,081	2,887,081
リース資産（純額）	138,954	128,012
建設仮勘定	6,500	111,762
有形固定資産合計	8,919,430	8,977,635
無形固定資産		
ソフトウェア	137,980	125,278
ソフトウェア仮勘定	—	1,327
無形固定資産合計	137,980	126,605
投資その他の資産		
投資有価証券	432,773	414,540
出資金	2,030	2,030
長期前払費用	173,866	161,627
前払年金費用	317,039	359,559
繰延税金資産	205,838	269,544
差入保証金	325,063	325,175
会員権	4,050	4,050
投資その他の資産合計	1,460,662	1,536,528
固定資産合計	10,518,072	10,640,769
資産合計	33,406,050	34,716,454

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,998,387	3,437,422
未払金	1,233,866	1,339,089
未払費用	1,277,713	1,472,762
未払法人税等	621,400	407,000
未払消費税等	279,232	401,654
賞与引当金	640,100	948,800
役員賞与引当金	23,900	5,300
役員株式給付引当金	5,800	7,400
資産除去債務	28,160	—
その他	56,358	106,545
流動負債合計	7,164,918	8,125,975
固定負債		
リース債務	12,430	11,684
長期未払金	1,557	1,168
資産除去債務	309,904	316,454
長期預り保証金	5,028	5,028
その他	123	229
固定負債合計	329,042	334,564
負債合計	7,493,961	8,460,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002,262	2,002,262
資本剰余金		
資本準備金	2,174,336	2,174,336
その他資本剰余金	3,731	3,731
資本剰余金合計	2,178,068	2,178,068
利益剰余金		
利益準備金	81,045	81,045
その他利益剰余金		
別途積立金	10,300,000	10,300,000
繰越利益剰余金	12,147,689	12,510,629
利益剰余金合計	22,528,735	22,891,675
自己株式	△1,007,765	△1,007,965
株主資本合計	25,701,300	26,064,041
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	210,788	191,873
評価・換算差額等合計	210,788	191,873
純資産合計	25,912,088	26,255,914
負債純資産合計	33,406,050	34,716,454

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	19,804,187	20,890,851
売上原価	16,514,651	17,182,127
売上総利益	3,289,535	3,708,724
販売費及び一般管理費	2,644,202	2,862,670
営業利益	645,333	846,053
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	785	879
不動産賃貸料	1,867	1,237
受取保険金	931	2,715
雑収入	-	10,000
その他	3,882	3,420
営業外収益合計	7,466	18,253
営業外費用		
不動産賃貸原価	187	188
雑損失	1,138	-
その他	361	203
営業外費用合計	1,687	392
経常利益	651,112	863,915
特別損失		
固定資産除却損	3,547	1,491
減損損失	1,809	1,998
特別損失合計	5,357	3,490
税引前四半期純利益	645,754	860,424
法人税、住民税及び事業税	319,499	348,955
法人税等調整額	△103,550	△64,387
法人税等合計	215,949	284,567
四半期純利益	429,805	575,856

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2022年3月1日至2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額(注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	10,373,568	9,430,619	19,804,187	—	19,804,187
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,373,568	9,430,619	19,804,187	—	19,804,187
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	109,408	109,408	△109,408	—
計	10,373,568	9,540,027	19,913,595	△109,408	19,804,187
セグメント利益	477,944	167,454	645,399	△66	645,333

(注) 1. セグメント利益の調整額△66千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自2023年3月1日至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額(注) 2
	テナント事業	外販事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	10,574,686	10,316,165	20,890,851	—	20,890,851
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,574,686	10,316,165	20,890,851	—	20,890,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	914,267	914,267	△914,267	—
計	10,574,686	11,230,433	21,805,119	△914,267	20,890,851
セグメント利益	460,464	385,702	846,167	△113	846,053

(注) 1. セグメント利益の調整額△113千円はセグメント間の内部取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 前事業年度において「テナント事業」に含めていた袋井ファクトリーを当第1四半期会計期間から「外販事業」に移管しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 主要な経営指標等の推移

回次	第53期 第1四半期 累計期間	第54期 第1四半期 累計期間	第53期
会計期間	自 2022年3月1日 至 2022年5月31日	自 2023年3月1日 至 2023年5月31日	自 2022年3月1日 至 2023年2月28日
売上高 (千円)	19,804,187	20,890,851	81,059,326
経常利益 (千円)	651,112	863,915	2,742,889
四半期(当期)純利益 (千円)	429,805	575,856	1,720,389
資本金 (千円)	2,002,262	2,002,262	2,002,262
発行済株式総数 (株)	10,000,000	10,000,000	10,000,000
純資産額 (千円)	24,764,134	26,255,914	25,912,088
総資産額 (千円)	32,910,693	34,716,454	33,406,050
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	44.44	59.53	177.86
自己資本比率 (%)	75.2	75.6	77.6

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期(当期)純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。